

財政公表

皆さんからの税金や国・県からの支出金などは、どのくらい入りのように使われたのでしょうか。奥ノ木市長就任時から令和5年度までを比較しながら、令和4年度の決算状況をお知らせします。これまでも適正な予算執行に努めてきましたが、今後もさらなる健全な財政運営を目指して参ります。

★ 令和4年度決算のポイント

歳出決算額(一般会計)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般会計当初予算	1,732億円	1,762億円	1,862億円	1,916億円	1,892億円	2,078億円	2,079億円	2,096億円	2,198億円	2,336億円
平成26年度との比較		30億円増	130億円増	184億円増	160億円増	346億円増	347億円増	364億円増	466億円増	604億円増
一般会計決算	1,764億円	1,813億円	1,879億円	1,979億円	1,854億円	2,020億円	2,696億円	2,319億円	2,312億円	9年間累計で2,631億円増

収収確保の成果

収納率を平成25年度末の90.6%から毎年着実に伸ばし、過去最高の収収を確保

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
市税	891億円	913億円	918億円	939億円	952億円	963億円	974億円	984億円	975億円	1,009億円
収納率(決算時)	90.6%	91.5%	92.5%	94.2%	95.6%	96.6%	97.2%	97.3%	97.9%	98.1%
平成25年度との比較		22億円増	27億円増	48億円増	61億円増	72億円増	83億円増	93億円増	84億円増	118億円増

土地開発公社借入金を含めた市全体の借入金残高を削減

(一般・特別・企業会計と土地開発公社借入金の合計) ※ ()内は一般会計決算に対する地方債残高の割合

	平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	令和4年度決算
市債残高	(83.1%)	(78.6%)	(76.2%)	(75.0%)	(79.1%)	(73.3%)	(55.2%)	(66.1%)	(66.3%)
一般会計	1,466億円	1,425億円	1,431億円	1,485億円	1,466億円	1,481億円	1,488億円	1,532億円	1,533億円
特別会計	776億円	767億円	760億円	757億円	756億円	209億円	211億円	216億円	222億円
企業会計	317億円	311億円	314億円	315億円	310億円	852億円	845億円	837億円	827億円
土地開発公社借入金 ※土地開発基金含む	175億円	166億円	152億円	128億円	89億円	68億円	58億円	52億円	54億円
合計	2,734億円	2,669億円	2,657億円	2,685億円	2,621億円	2,610億円	2,602億円	2,637億円	2,636億円

※特に土地開発公社借入金的大幅な圧縮を図りました。

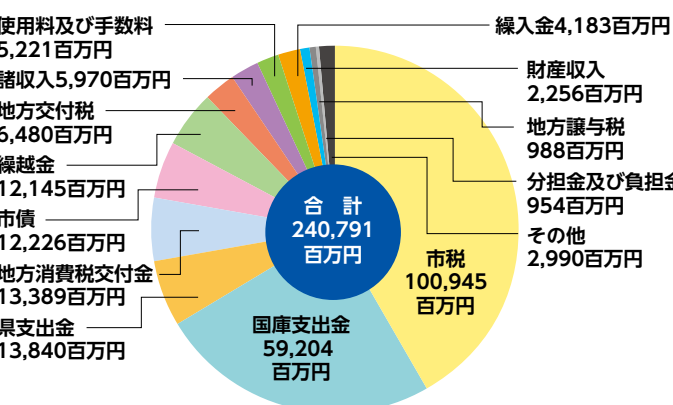
	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
土地開発公社借入金	189億円	175億円	166億円	152億円	128億円	89億円	68億円	58億円	52億円	54億円

10年間で406億円の大幅な圧縮

一般会計決算額の内訳

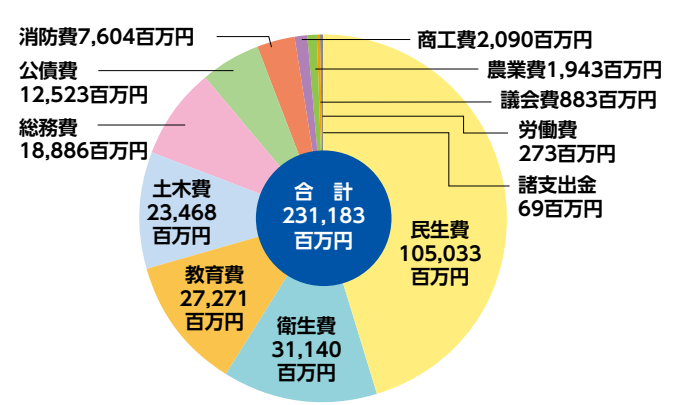
歳入 2,407億9,100万円

市税は、新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、市制施行以来最大の収納額となり、前年度の約975億円と比べ約34億円の増、国庫支出金は子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金があった前年度の約644億円と比べ約52億円の減となりました。



歳出 2,311億8,300万円

川口栄町3丁目銀座地区第一種市街地再開発事業の増などにより、土木費は約23億円の増、新庁舎建設事業・イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)整備事業・川口市立高等学校建設事業の3大プロジェクトにおいて、川口市立高等学校の完成などにより約56億円の減、子育て世帯や住民税非課税世帯等を対象とした臨時特別給付金給付事業の減などにより民生費は約37億円の減となりました。



令和4年度 主な事業の決算額

3大プロジェクトの推進

- 新庁舎建設事業
(2期棟・立体駐車場の建設工事)
……………14億6,900万円
- イイナパーク川口(赤山歴史自然公園)整備事業(ハイウェイオアシスの整備)
……………3億9,000万円
- 川口市立高等学校建設事業は令和4年3月に完了



新型コロナウイルス感染症への対応

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 ……35億5,900万円
- 感染症予防対策事業 ………………20億4,500万円
- 新型コロナウイルス感染症対応協力医療機関支援事業 ………………7億3,100万円
- 高齢者元気応援ギフト事業 ………………5億7,400万円

自然保護の推進

- 生物多様性保全事業 ………………900万円
- グリーンセンター昆虫の森維持管理事業 ………………500万円
- 緑地保全・保全緑地等公有地化事業 ………………2億円

文化の高揚

- 美術館建設等検討事業 ………………3,900万円
- 歴史的建造物施設整備事業 ………………1億8,200万円

主要な公共施設の整備

- 青木会館改築事業 ……9億5,200万円
- 小・中学校の施設維持補修・施設整備・改築事業(新郷・東本郷小学校プール改築工事など) ………………24億1,800万円
- 中学校夜間学級新校舎建設事業 ………………1億4,600万円
- 鳩ヶ谷公民館改築事業 ………………7億5,400万円
- 西川口・横曽根公民館・横曽根図書館集約化事業 ……1億5,700万円



「みんなでつくる川口の元気」に関わる施策

〇人々の元気

- 保育所等の整備 ………………7億8,000万円
令和5年4月1日現在199施設・12,169人(前年度比3施設・209人増)
- 保育士確保を目的とした保育士賃金補助 ……2億5,000万円
149施設・1,458人(前年度比7施設・111人増)
- 子ども・子育て関係予算の拡充 ………………33億5,700万円
(赤ちゃんにっこり応援金・医療費県内窓口払の撤廃など)
(前年度比1億300万円増)
- 多文化共生推進事業 ………………2,500万円

〇産業の元気

- 働きやすいまちづくりの推進(パンフレット作成) ……100万円
- 市産品フェア2022の開催 ………………8,800万円
- 国際園芸博覧会出展事業 ………………1,200万円

〇くらしの元気

- 戸塚環境センター整備事業 ………………9億5,900万円
- 朝日環境センター大規模改修事業 ………………1,400万円
- 不法投棄対策事業 ………………4,300万円

〇まちの元気

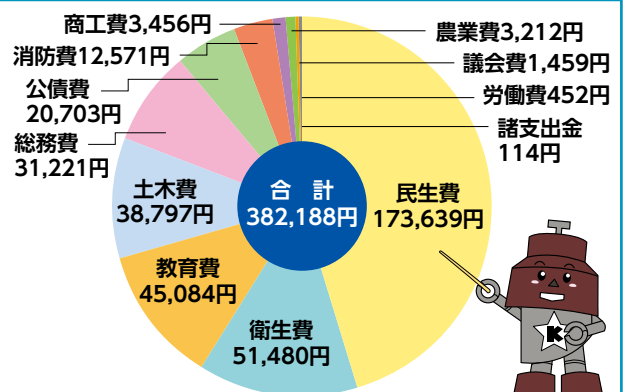
- 市街地再開発事業等への支援 ………………48億4,700万円
- 区画整理事業・住宅市街地総合整備事業の促進 ……50億7,200万円
- 川口駅周辺まちづくり関連事業 ………………3,200万円
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進 ……9億2,500万円
(マイナンバーカードの普及促進、マイナポイント支援事業、業務効率化等の推進など)

〇地域の元気

- グリーンセンター再整備事業 ………………10億6,300万円
- NHK跡地整備事業 ………………1億5,700万円
- 東川口駅周辺浸水対策事業 ………………1億6,800万円
- 災害に備えたインフラ整備
江川第3調節池整備事業 ………………3億3,900万円
雨水流出抑制対策事業 ………………2億3,300万円
(柳崎第3公園、在家公園、貝塚落第1調節池)
- 沼田公園整備事業 ………………4億9,700万円
- 仮称東消防署建設事業 ………………12億7,100万円

一般会計の決算額を市民1人当たりでみると…

- **民生費** 高齢者・障害者・児童・生活困窮者に対する福祉など、市民の安定した社会生活を保障するための経費
- **衛生費** 生活習慣病予防対策や予防接種などの保健事業、環境対策およびごみ収集・焼却など市民の衛生的な生活環境を保持するための経費
- **教育費** 幼稚園・小学校・中学校・高等学校、図書館・公民館・科学館・スポーツセンターなどに要する経費
- **土木費** 道路・河川・公園などの維持・整備および都市計画・再開発などのまちづくりに要する経費
- **総務費** 全般的管理事務、企画調整、財政・財務管理、財産管理、戸籍、統計、課税・徴収および選挙に要する経費
- **公債費** 市債(市の借金)の償還費



令和4年度特別・企業会計決算額

会計種別	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
特別会計(10会計)	1,412億5,800万円	1,392億400万円	158億1,300万円
企業会計(3会計)	515億8,200万円	569億8,700万円	54億5,900万円

※企業会計歳入不足分は、内部留保資金(減価償却費など)等で補填